



旗の重みずつしり

春季野球大会

—古川マイッターズ2年ぶり制覇—

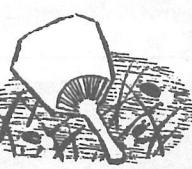


大会結果	
優勝	古川マイッターズ
準優勝	長倉ラビッツ
第3位	屋形サニーズ
南部1チーム	

5月14日に開幕した春季野球大会は、7月2日に決勝戦を迎えました。トーナメント方式によつて勝ち進んだのは、古川・長倉の両チーム。

この試合では、守備・攻撃とともにリズムをつかんだ古川チームが、長倉チームの追撃を振り切つて、2年ぶりの優勝となりました。

この大会で、スポーツのとりもつ地域の輪が、一層大きくなつたことでしょう。お疲れさまでした。



宿
(選者) 土屋 栗水

灯
藤代 ゆう

母の手を解いてかけ出す夜店の
砂日傘風紋日々にあらたなる

成田栄三郎
行方はじめ

生枝に電球ぶらり夜店かな

鈴木 南知
戸村 静華

十字碑は鉄鎖の中に濃紫陽花

鈴木 草庵
鈴木 南知

信号待ちする人なかに日傘揺れ

(故奥山崩古氏を弔す)
句友逝くや路傍にしぶく夏の雨

川面吹く風切返す夏燕
勝又やすのり

夜店にて数珠買うことをためら
いぬ
海保 きみ

宇井 芝童
宇井 芝童

絹日傘コロンの聲はのと曳き
の面に蛙鳴く声千ともきこゆ

池田 春江
池田 春江

秋葉 とく
秋葉 とく

祓ふがに五色の旗は風に舞ひ亡
き兄の家の上棟の式

短歌

震災と戦下の炎くぐりしか欠け
てしづもる左千夫のみ墓
(選者) 斎藤つね子

斎藤 佳子
斎藤 佳子

でで虫の豆粒ほどを掌に乗せて
息ひそめつつ子は帰りきぬ

斎藤 秀男
斎藤 秀男

小さき鳥巣籠るがみゆ泡立草の
休耕田をうづむる中に

向後 泰治
向後 泰治

一日の予定なきまま食膳に向ふ
の素足のあと残しつつ

掛川 友代
掛川 友代

潮のひき砂濡れぬれて渚ゆく吾
あしたの味気なきかな

大場 和可
大場 和可

まむかひの杉の苦木は吹く風に
労ひのことばはなくもエレベー

タまで車椅子の夫見送りくるる
宇井 芝童

池田 春江
池田 春江

秋葉 とく
秋葉 とく

色あせし揃いの帽子の六地蔵サ
イズ大きく眼をかくす

宇井 芝童
宇井 芝童

宇井 芝童
宇井 芝童

秋葉 とく
秋葉 とく

秋葉 とく
秋葉 とく